



九州大学ビジネス・スクールが日本政策金融公庫福岡支店と提携を開始

概要

昨今、日本の産官学に共通する重要課題として「新たな事業創造」が挙げられます。このたび、国立大学法人九州大学ビジネス・スクール（QBS）は、株式会社日本政策金融公庫福岡支店と提携の覚書を締結し、「新たな事業価値を創造する人材の育成」に向けた各種事業協力を行います。

背景

昨今の日本が抱える重要課題として「新たな事業創造（イノベーションの実現）」が指摘されています。全国の経営者を対象とする調査によると、経営の最大の課題として「事業創造推進の実行力不足」が挙げられています（※）。また、福岡市では、国の戦略特区として「グローバル創業・雇用創出特区」の指定を受け、アントレプレナー育成・支援の活動が活発に展開されています。

QBSは、2009年の設置以来、QREC（ロバート・ファン/アントレプレナーシップ・センター）設立構想と運営に関与し、QBSのみならず全学的な教育機会を提供してきました。また、平成27年度からは、育成すべき人材像を「経営と産業技術の知見をもって変革をリードし、アジアで新たな事業価値を創造する国際的なビジネス・プロフェッショナル」と掲げ、『QBSアントレプレナー育成プログラム』をスタートさせるなど、「新たな事業価値創造」を担う人材の育成に取り組んでいます。

日本政策金融公庫は、近年、創業希望者への相談体制の充実や創業融資を充実させ、2014年度の創業融資額は、過去10年で最高の26,000社、2,214億円に達しました。特に、北部九州地域では、福岡創業支援センターを中心に、起業家・経営者向けの相談会や起業イベント『Startup Go!Go!』を企画運営するなど、豊富な起業支援実績を有しています。

（※）「2014年度 第36回 当面する企業経営課題に関する調査」一般社団法人日本能率協会

内容

今回、QBSが取り組む「新たな事業価値を創造する国際人材の育成」を効果的に促進するため、豊富な起業支援実績をもつ日本政策金融公庫福岡支店との間で、「業務連携・協力に関する覚書」を締結しました。具体的には、以下の3点を目的として、業務連携・協力を行います。

- (1) 高度経営能力を備えた人材の育成
- (2) 創業予定者への早期からのサポート
- (3) (1)と(2)をふまえた創業支援、中小企業支援、経済活性化及び地域貢献

今後、QBSビジネスプラン・コンテスト（最終発表審査会：平成27年9月12日）やビジネス・セミナーの共催、QBSで開講される関連科目への日本政策金融公庫からの講師派遣等を行う予定です。

効果

今回の業務連携・協定によって、経営と産業技術の知見を有する「新たな事業価値の創造」を担う人材が育成され、地域あるいは国際的な活動を通じて、これからの日本を担う世代のイノベーションの実現に貢献することが期待されます。

【お問い合わせ】

大学院経済学研究院産業マネジメント専攻

専攻長 高田 仁（たかた めぐみ）

電話：092-642-4449

FAX：092-642-4449

Mail：mtakata@econ.kyushu-u.ac.jp